

新年の「あいち」



宇城市長
守田 憲史

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、全国各地で台風や集中豪雨による甚大な被害が発生し、防災・減災対策の重要性をあらためて認識させられた年となりました。

熊本地震から3年8カ月が経過しましたが、これまで本市は、市民の暮らしと生活の再建を最優先課題と位置付け、社会基盤の整備や地域産業の再生など、復興に向け

て全力で取り組んでまいりました。本年は、第2次宇城市総合計画（前期基本計画）の4年目であり、熊本地震からのインフラの復興・復興期の節目の年となります。

市内6カ所に整備を進めている防災拠点センターや災害公営住宅の早期完成に向けて、組織一丸となって全力で取り組んでまいります。

市は本計画に基づき、「復興する」「育てる」「住み続ける」「持続する」「選ばれる」「活躍する」の6つのまちづくりを施策目標に掲げています。その実現のために、より

一層、本市の魅力を発信し、社会環境整備と産業振興により地域活性化を図ってまいります。

また、子どもたちが日本一輝ける「教育のまち」づくりを目指して、安全で快適な教育環境の整備と子育て支援の充実にも積極的に取り組んでまいりますので、市民の皆さまのご支援、ご協力を引き続きお願い申し上げます。

元号が令和となり初めて迎える新年が、皆さまにとりまして幸運き年となりますよう祈念申し上げます。新年のあいさついたします。



宇城市教育長
平岡 和徳

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。昨年は、熊本県民体育大会や熊本県人権教育研究大会が宇城管内で開催され、スポーツや文化活動などさまざまな分野で、本市の皆さんが素晴らしい成果を挙げられた一年でした。

今年も、「教育のまち」となることを目指し、市民が輝き、未来を担う子どもたちが生き生きと成長してくれることを心から願っております。

ります。「夢の実現」に向かって前進する子どもたちは、本市にとってかけがえのない宝であり、今後、あらゆる面でその成長を支えてまいります。

サッカーのフランスチームの元監督は「私たちは、学ぶことを止めたとき、教えることも止めなければならぬ」と言いました。私も、進化を求め全国の有識者からさまざまな話を聞き、本市で活用できる情報を「自分のフィルター」を通して発信していきます。

今年も「人を責めず、自分を責

めず、問題を攻める」をモットーに、有機的な施策をこれまで以上のスピード感と機動力を持って推進し、着実に宇城市の教育力を高めてまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、今年一年の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のあいさついたします。



宇城市議会議員
長谷 誠一

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、市議会を代表しまして、謹んでごあいさつを申し上げます。

皆さまには、穏やかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より議会に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年はラグビーワールドカップが日本で開催され、日本代表の活躍に日本中が感動と喜びに沸きました。しかし一方では、相次ぐ台風の襲来により、各地で大

きな被害が発生し、改めて自然災害の恐ろしさ、備えの大切さを痛感させられた年でもありました。現在、社会情勢は少子高齢化社会の到来に伴う社会保障や財政の問題など課題が山積し、市政の取り組むべき課題も福祉、医療、教育、環境、産業、防災など多岐に渡っております。

このような中で、議会におきましては、市民の代表機関として、多種多様化する市の諸問題解決に向けた議論を重ねております。また、市民の皆さまの信託に応える

ために、議会活動の活性化を図り、皆さまに分かりやすく開かれた議会を目指し、議会改革を進めてまいります。

今後、皆さまの声を十分お聞きし、行政と議論を重ね、市政に反映するよう努めるとともに、本市発展のため誠心誠意尽くしてまいります。変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。最後に、本年が皆さまにとりまして、幸多く実りある年となりますことを心よりお祈りし、新年のあいさついたします。